



北海道釧路湖陵高校 進路指導部 阿部輝之 + 福本吉範

新たな一步を踏み出す勇氣は ゴールを共有した語り合いから生まれる

先輩から受け継いだ
大切な思いを守る

阿部 担当教科は同じ国語ですし、生徒指導にも長らく一緒に取り組んできましたね。

福本 2003年に始めた進路イベント「統一学校説明会」の立ち上げ期を知る古株は、我々だけになりました。

阿部 北海道の東端に位置する本校は、道外に目を向ける生徒が少なく、進学実績が伸び悩んでいました。そこで、8月末に全国の大学から担当者を招いた合同説明会を開き、生徒の視野を広げて可能性を引き出そうという、当時の教師たちの熱い思いからイベントをスタートさせましたね。

福本 異動していく先輩教師の思いを受け継ぎ、進路指導部を中心に全教員が一丸となって運営してきました。不易を守りながらもイベントを進化させられたのは、多くの先生方と、ことん語り合ったからだと感じています。

阿部 そうですね。第1回の参加数は約50大学でしたが、第13回の今年は約100大学まで増えました。第1回はまさに手探り状態でしたが、生徒は「自分たちのために全国から集まってくれ

るなんて！」と驚きや感謝の気持ちを抱き、各大学のブースで目を輝かせて話を聞いていたのが印象的でした。

いかに新鮮な感動を与えて
指導の効果を高められるか

福本 このイベントを機に進学実績は大きく向上し、生徒の進学先も全国に広がりました。しかし近年、生徒にとっては、「あつて当たり前の行事」となっている、そんな懸念があります。

阿部 大きな課題ですよ。初期はイベントに対する感動が大学への関心につながっていましたが。

福本 今はインターネットで大学情報が手軽に得られます。しかし、実際に大学の担当者と対面して教育の背景にある熱い思いを知ること、単なる大
学理解にとどまらず、学習意欲の向上へとつながっていくのだと思います。

阿部 いかに新鮮な感動を与えられるかが鍵なんですよ。そのことについて、最近も2人でよく話しますね。

福本 そうですね。例えば、大学の情報を得るだけで終わらせず、自らアクティブに動いて学んだり、大学担当者とのやり取りを通してコミュニケーション力を高めたりするには、どう

進路指導と教科指導を
キャリア教育でつなげる

長年進路指導に携わる中で、生徒が自分のキャリアをイメージするためには、深く思考したり、他の生徒と語り合っただけで考えを発展させたりする力が重要だと感じています。そこで、将来につながるような言語能力の育成を念頭に、国語の授業をつくっています。

福本先生とは11年間にわたって、同僚として進路指導や国語指導の相談相手になってもらってきました。私は多弁ではありませんが、福本先生は、冗談などを言って、場の空気を和らげるのが得意な明るなお人柄。そのようにタイプが全く異なるからこそ、お互いに自分にはない発想や物事を捉え、高め合うことが出来るのでしよう。



北海道釧路湖陵高校
阿部輝之 43歳

あべ・てるゆき 教職歴19年。同校に赴任して13年目。進路指導部。1学年担任。前3学年主任

北海道釧路湖陵高校

◎校訓は、「誠・愛・勇」。100余年の歴史で2万7000人を超える卒業生を送り出す。2012年より文部科学省の「スーパーサイエンスハイスクール」の指定を受け、東京大や北海道大と連携した探究活動に取り組む。また、地域医療を支える人づくりプロジェクト「医進類型指定校」の一環として、体験学習や少人数授業などを展開する。

◎設立 1913(大正2)年 ◎形態 全日制・定時制/普通科・理数科/共学 ◎生徒数 約720人

◎2015年度入試合格実績(現役のみ)

国公立大は、北海道大、旭川医科大、弘前大、東北大、宇都宮大、埼玉大、東京大、富山大、金沢大、京都大、徳島大などに110人が合格。私立大は、札幌大、上智大、中央大、法政大、明治大、立教大、早稲田大、立命館大などに延べ250人が合格。

◎URL <http://www.koryo946.hokkaido-c.ed.jp/>



いった指導が効果的か、とか……。欲張りですが、もっと多くの学びを得られる場にしたいですね。一方で、今後教師が汗をかいて各大学と直接やり取りをするなど、当初からの運営方針は貫いていきたいです。そこには先輩教師への敬意もありますし、大学との関係を深めるといふ戦略もあります。

阿部 これからも守るべき伝統は守り、次の世代に引き継ぎましょう。

福本 今年、ある卒業生が「自分の大学の良さを後輩に伝えたい」と、自主的に大学の入試課に本校の統一学校説明会について説明し、実際に参加が決

まりました。我々の思いを感じ取ってくれる生徒の存在は大きな喜びです。

阿部 今後の目標は、イベントを大学の先も見据えて、職業や生き方を含めたキャリア教育の場として深化させることです。キャリア意識がしっかりと育まれれば、生徒は更に主体的になつていくはずですよ。

福本 同感です。我々が常々話している進路指導のゴールは、自立した学習者の育成ですからね。

阿部 将来像をイメージさせて、そこに自ら向かっていく生徒を育てたいですね。今後も大いに語り合ひましょう。

自立した学習者をいかにして育成するか

高校教師は、生徒の3年間を預かる大事な仕事です。卒業後、社会で力強く生きる土台をつくるためには、とにかく自立して学習できる力を育てなくてはなりません。しかし、「言うは易し」で、生徒の自立を促すのは非常に難しいことだと痛感しています。手を掛け過ぎると依存心が強くなるし、かと言って放任してもなかなか狙い通りには育ってくれません。では、どのような指導が効果的なのだろうか——といった話題が最近の阿部先生との会話の中心です。

阿部先生は、常に冷静でありながら、教育には熱い信念をお持ちの方。そんな「静かなる情熱」に触れながら、今後も対話を通して多くのことを学ばせていただきたいです。



北海道釧路湖陵高校
福本吉範 41歳

ふくもと・よしのり 教職歴18年。同校に赴任して12年目。進路指導部長。